

# 「井之川中学校の下久志棒踊り伝承活動の取組」

## 1 学校名

徳之島町立井之川中学校

## 2 学年・人数

1年生から3年生（計25人）

## 3 日時・場所

### (1) 練習の日時・場所

令和2年10月26日（月）、11月2日（月）、11月9日（月）

井之川中学校体育館

### (2) 発表の日時・場所

令和2年11月14日（土） 井之川中学校学習発表会

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事や史跡について

### (1) 名称

下久志棒踊り（しもくしぼうおどり）

### (2) 由来

下久志には鉱山があり、銅が掘られていた。大正15年頃が鉱山の採掘がいちばん盛んだった。鳥取県や島根県などから採掘のプロが来ていた。鉱夫さんたちも来ており、5月19日と9月23日に山の神への御礼に山の神まつりというのをしていた。その時、大島から習ってきた青年が教えたのを下久志の人々が習い伝わった。

### (3) 構成等

4人1組で2人ずつに分かれて、長い棒を持って踊る。唄に合わせて勇ましく棒を打ち合わせたり相手が振り下ろす棒を受けたりする動作を、隊形を変えながら行う。また、唄に合わせて合いの手を入れるのも特徴である。唄は前奏に続き、4回繰り返す。

#### 歌詞

「おーおーおおええー江戸おおーわ 見いええたあかあよ まあだあー  
見いいえぬ やあまあかあわあ みいなあとおーわ まあつうやあまあで  
え まあーええーわあ ううみいに はあーしりぶうねえ あーれは し  
よーい しよい さあーさあ えいえい」

## 5 保存会や地域との連携の具体

2018年から下久志棒踊り保存会の全面的な支援の下、棒踊りを井之川校区の郷土芸能として継承を目的とし、文化祭（学習発表会）で諸田の鍬踊りと隔年で生徒と職員が踊っている。現在は、下久志の青年団が中心となり指導を行っている。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

総合的な学習の時間において、郷土伝統の体験・表現する学習を設定した。目的は、郷土に伝わる踊りについて、地域の方等から学び、自ら踊って体験的に表現することで、伝統を守り、継承することの大切さについて考えることができるようになることである。

また、地域の方等の指導の下、全学年で練習を行い、3年生が下級生の手本となるような場を設定した。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【下久志青壮年部による指導の様子】



【教職員も一緒に練習する様子】



【伝承の喜びを口上で述べる様子】



【学習発表会で発表する様子】

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

### 【生徒】

保護者や来客がいる中で、緊張しながらもしっかり発表することができた。口上が上手く言えていたし、踊って楽しかった。

### 【保護者】

素晴らしい発表で感動した。子供は島の宝だという気持ちを再認識した。

### 【保存会】

今後も島人の人材活用をしていただきたい。ご縁を大切にしながら、生徒の皆さんの成長を応援しています。

### 【教職員】

総合的な学習の時間を核とし、様々な教育活動において郷土愛の育成を目指しているの、生徒たちは棒踊りを楽しそうに踊っていた。また、下久志青壮年部の指導者とも親交が深く、生徒たちは来校をととても喜んでいた。地域と連携して教育活動を推進することの素晴らしさに感銘を受けた。